



こんにちは 加藤ひろし です

第40号

私の活動地域
晴海・勝どき・豊海町
築地・浜離宮庭園

くらしや区政のご相談
お気軽にお電話ください
3551-6820 (事務所)
3533-0583 (自宅)

日本共産党中央区議会議員 私のブログもご覧ください『こんにちは加藤ひろしです』で検索!

「核兵器のない平和で公正な世界」に向け 核兵器全面禁止・核廃絶の世論を大きく

広島・長崎への原爆投下から68年目を迎えた今年、私(加藤博司)は、長崎市で開催された「原水爆禁止2013年世界大会」(8月7日から9日)に、区議団を代表して、中央区代表団の一員として参加してきました。

核兵器全面禁止のアピール署名への協力を

大会初日は「開会総会」。長崎市長や被団協の方からの挨拶、国連や海外の政府代表の発言や、核兵器全面禁止に向けての海外・国内からの草の根の活動報告。

二日目は「分科会」。大会参加者が各分科会に分散し経験交流を行いました。私は「非核平和の自治体づくり」の分科会に参加。全国で取り組まれていく「核廃絶」に向けた「自治体ぐるみ・地域ぐるみ」の草の根の取り組みの経験交流。

三日目は「閉会総会」。7千人名を超える大会参加者。日本原水協の安井事務局長が「核兵器のない世界という被爆者の願いを受け継ぐ」とともに、2015年に開催されるNPT再検討会議に向け「核兵器全面禁止のアピール署名」を、さらに大きく広げ「核兵器の廃絶を求める国内外の圧倒的な世論をつくりだすこと」を訴え。参加者一同の大きな拍手で確認し、2013年「世界大会」は閉会しました。

オリバー・ストーン監督、特別企画で語る

閉会総会では、広島・長崎への原爆投下が不要だったことなどを明らかにしたドキュメンタリー「もう一つのアメリカ史」を制作した米国映画監督のオリバー・ストーン氏が特別企画に登場。氏は、安倍政権の原爆再稼働推進の立場について「まるでヒロシマ・ナガサキから何も学んでいないようだ」と批判。

田上長崎市長「被爆国の原点に返れ」と、日本政府を厳しく批判

爆心地に近い平和公園で開催された長崎市長の平和式典。市長は「平和宣言」で核不拡散条約(NPT)再検討会議準備会(今年4月・ジュネーブ)で、日本政府が核兵器の非人道性を訴える共同声明への署名を拒否したことを受け、「二度と世界の誰にも被爆の経験させない」という被爆国としての原点に反すると、日本政府の姿勢を厳しく批判しました。

核兵器全面禁止・核廃絶の世論を

私は、「核兵器のない世界」という被爆者の願いを受け継ぐとともに、2015年に開催される核不拡散条約(NPT)再検討会議に向け、これからも「核兵器廃絶」を求め世論を大きくしていくために取り組んでいきます。ともに「核兵器のない平和で公正な世界」に向け声を大きくあげていきましょう。



全国から大会に参加した代表団のみなさん(上)と大会会場前の私(加藤博司)

築地市場移転反対・現在地で再整備を

日本共産党区議団ニュース

2013年8月下旬号 中央区築地1-1-1
電話3546-5563, FAX3546-9570